

THE KOBECCHO

NOVEMBER '93 No.391



月刊神戸っ子 11

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
1993年11月1日印刷 通巻391号
1993年11月1日発行 毎月1回1日発行



●小磯良平肖像画シリーズ
「K夫人像」

華やかに開幕! コートリーグ。

街を、都会をスタジアムにして、
女性たちのコートリーグが、始まる。
ベニヤでは、熱き視線と喝采が起こる、
この冬一番の
コートコレクションを開催中。

会員募集中!!

*うれしい特典がいっぱいのベニヤメンバーズカード。



 **BENIYA**
KOBE OSAKA TOKYO

KOBE ● 本店 ● エルベ店 ● ペーシェー店 ● ウイング店
● さんちか店 ● イヴ・サンローラン店
● 西神ブレンティ店 ● ウイングハーバーランド店
OSAKA ● 三番街店 ● ミナミ店 ● 近鉄店
TOKYO ● 銀座店 ● 自由ヶ丘店 ● 日比谷店

● 全店コートコレクション開催中!!



YVES SAINT LAURENT

秋の実りを愛しむ
光のようにあでやかな、
ジュエル・エクスタシー。

田崎真珠

本 社

〒650 神戸市中央区港島中町6-3-2
TEL.(078)302-3321

東京本社

〒107 東京都港区赤坂1-4-1
TEL.(03)5561-8856

札幌・仙台・東京・成田・千葉・横浜・名古屋・京都
大阪・神戸・松山・広島・北九州・福岡・大村・長崎



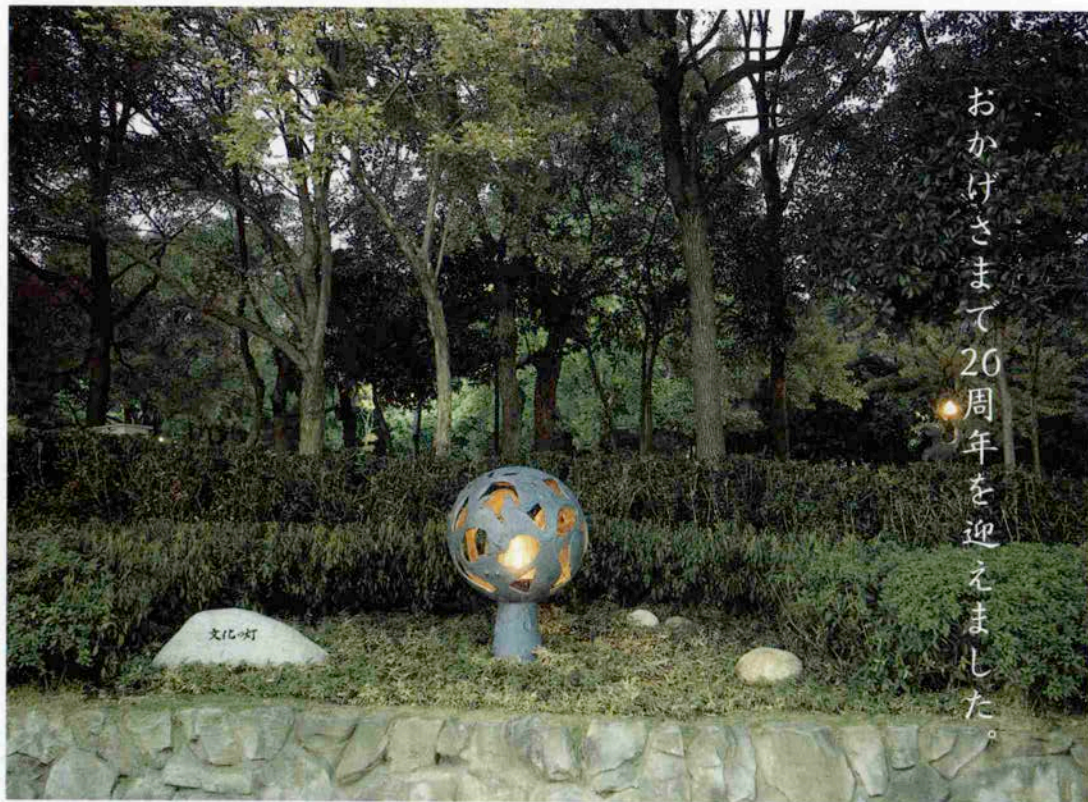
ペンダント/Pt・K18・南洋真珠・メレタイヤ/デザイン・制作 加藤幸保



そのいろは
貴女のいろ

JEWELRY **タジマ**

神戸元町2丁目 TEL.078(331)5761



おかげさまで20周年を迎えました。



神戸文化ホールにて笹山幸俊神戸市長により点灯された“文化の灯”。

このモニュメントは、アーバンリゾートフェア神戸'93の開催と神戸文化ホール開館20周年を記念して、彫刻家の新谷英子さんによって制作されたもので、神戸の文化が、これから一本の木の様に根を張り、幹や枝を伸ばして大きく育ってゆくことをイメージしてデザインされたものです。

今後の新たな神戸文化の発展・創造を願い、“文化の灯”は永遠に灯し続けられます。

財団法人 神戸市民文化振興財団

神戸文化ホール

〒650 神戸市中央区楠町4丁目2番2号 TEL..(078)351-3535

本田 幸子

イズム

ISMを着る

同志社女子大学学芸学部音楽学科声楽専攻卒業。井上和世氏に師事。大学在学中、学内アンサンブルクラスによるオペラ公演「フィガロの結婚」にバルバリーナ役として出演。

現在、同志社女子大学音楽学会『頌啓会』特別専修生。

ディア プリンセス

- 三宮センター街店.....078-332-1847
〒650 神戸市中央区三宮町1-6-18
アステシオ元町店.....078-322-0761
〒650 神戸市中央区元町通1-8-1
JR大阪駅店.....06-346-7621
〒530 大阪市北区梅田3-1-1ギャレ大阪
新神戸店.....078-222-3637
〒650 神戸市中央区加納町2-1-5
神戸北野店.....078-222-2818
〒650 神戸市中央区山本通2-9-17
芦屋店.....0797-34-2060
〒659 芦屋市大原町28-1バルティ芦屋
仁川店.....0798-51-1972
〒662 西宮市仁川町2-4-13ベルドール仁川1F
神戸垂水店.....078-706-1558
〒655 神戸市垂水区神田町2-9松林ビル1F
福岡天神店.....092-731-5510
〒810 福岡市中央区天神2-7-18



MAISON MARTIN MARGIELA

ISM GROUP

神戸市中央区布引町1-1-10
☎(078)222-3641



アースインターナショナル

スーツ / 43,000円

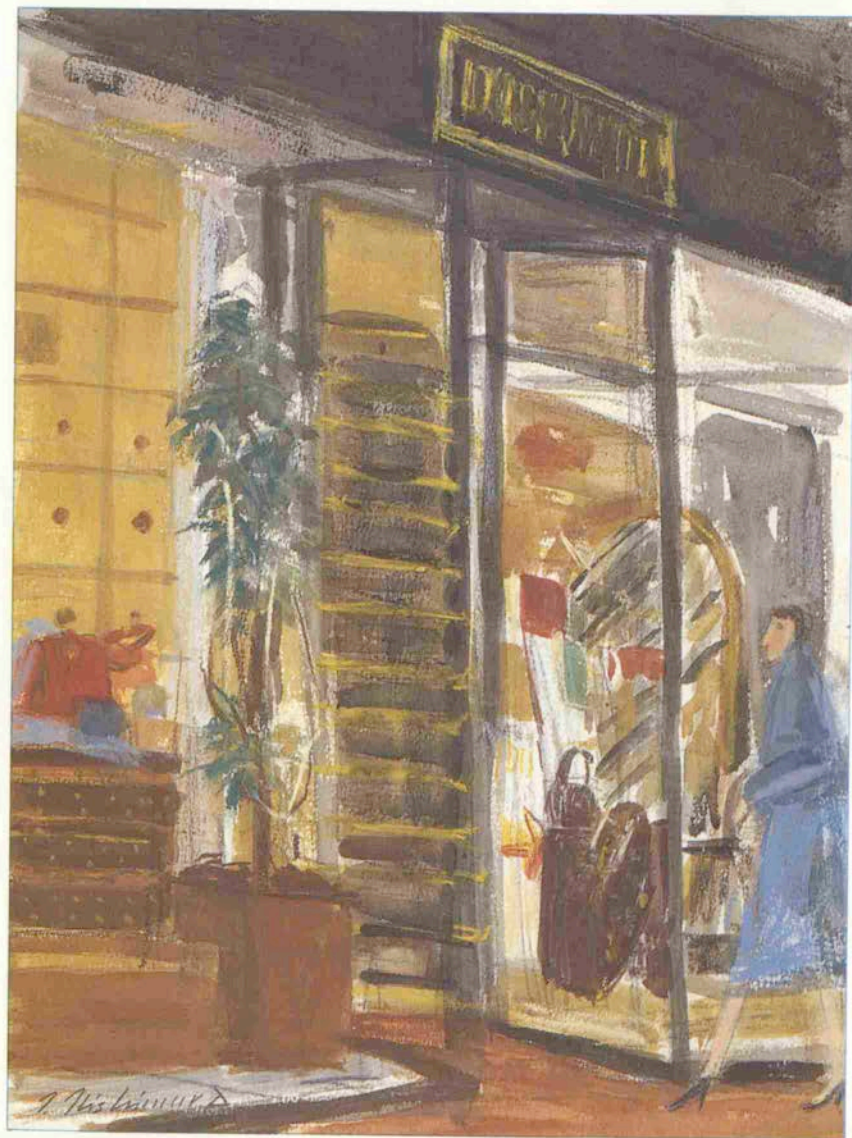
撮影協力 / ジャン・ムーラン


Second Cover ● 街の風景(44)

ルイ・ヴィトンの店

(1993年)

西村 功





HARUMI FUJIMOTO

“流れる季節に” 藤本ハルミ作品集

日本の伝統美きものの地を素材にモダンな洋服づくりを25年
積み重ね、今そのライフワークを作品集として処女出版！

■作品集によるファッションパーティ

12月14日（火）P.M. 6：30～9：00

於／新神戸オリエンタルホテル真珠の間
チケット ¥20,000（作品集を含む）

作品集内容／Part I 月刊神戸っ子連載の作品とエッセイ “季節の女”

Part II 25年間の代表作品とパーティドレス集

Part III 対談／田辺聖子・新井満・森美代子

出版と主催／月刊神戸っ子 神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F

お問い合わせ TEL 078 (331) 2246 FAX 078 (331) 2795



kansin street gallery <56>

— 世界の街角シリーズ — 第11回 八木茉莉子



生田新道に面したストリートギャラリー

“ときめきバンクかんしん”
は「共感・対話・信頼」を企業
理念として、地域の文化・芸
術の育成に努めております。
この“かんしんストリート
ギャラリー”も芸術の香りを
はのかに漂わせたアーツ
ポットとして、本年は、世界
の街角シリーズと題し、世
界の街角の風景を描いた作
品を紹介してゆきます。



ある日(ロサンゼルス・ディズニーランド)



やぎ まりこ
(洋画家)
大阪府豊能郡在住


黒い、白い、太い、ほと
んどが原色のスエットス
ーツ姿の人達でいっぱい。チ
ョコレートで出来た様なカ
ラフルなお城.中に入ると、
人形達の歓迎声、ぬいぐる
みの行進、すべてがまるで
オトギの国の夢の世界。ポ
ップコーンをほおばりなが
らしばし童心にかえったひ
とときでした。

秋色に染まる光の雫



Pearl Communication
 KINOSHITA
PEARL
CO., LTD.

株式会社 木下真珠

〒650 神戸市中央区山本通1-7-7(北野坂)
TEL (078) 221-3170  0120-08-0487 (フリーダイヤル)
10:00 a.m. ~ 6:00 p.m. 無休 東京 / 銀座 大阪 / 心斎橋

水のようになく

馬淵 よしの

(タレント)

カメコ 米田定藏

“高飛込”は好きではなかった。遊びたい盛りだったし、母に対する反発もあった。「このままだと高飛込を止めてぐれてしまう」と心配した母のすすめもあって、アメリカテキサス州マカラハイスクールへ留学。ロバート・レッドフォード似のコーチのもとで練習を続け、84ロスオリンピックでは高飛込で9位に。しかしそれまで目標にしていた対象がなくなり、いわゆるバーニアウト・シンδροーム(燃え尽き症候群)に襲われ何もやる気が起きなくなってしまう。

とりあえず大学には入ったが、興味が持てなかった。かといって仕事をするにもそれまで自分がいた環境を考えると普通のOLは勤まるかどうか不安だった。そんなときタレント事務所からスカウトされ、東京へ。「選手の頃はマスコミ嫌いだっただのに、因果なものですね。現在「ハロー!コウベ」(サンテレビ)や「わいわいサタデー」(ABC)、「リゾートの風」(テレビ和歌山)の司会やリポーターとして活躍する馬淵さんは、この10月に約7年住んだ東京を離れ、神戸に引っ越してきた。番組の収録のため毎週末神戸に通ううち、タクシーから見えた神戸の夜景がきれいで、ふと住んでみたいなと思い、決めた。「思い切ったら早いんです。飛込みたいに瞬発力のできるのがある」と語る彼女はこれからどのように変化していくのだろうか。



JCI世界会議に向けて

永田耕一

(株)永田良介商店社長・JCI
世界会議神戸大会実行委員長

カメラ・米田定蔵

94年11月11日から20日まで開催される、JCI（国際青年会議所）世界会議神戸大会の実行委員長を務める。海外から約百カ国・地域5千人、日本を含め総勢1万7千人の会員のまとめ役として、諸事の準備に忙しい。神戸は、都市機能の中枢やコンベンション機能が一カ所にまとまっているからいいんですよ。街のサイズがいていうのかな。ただ、今回のように何千、何万という人数になると、もっと大きな会場が必要だし、それだけの人が食事をとれる場所もあるんです。」

この点が、神戸が「コンベンション・シティ」となるための課題であり、今回のJCI世界会議がいい意味での実験台になれば、と忙しい中、神戸の街について考える。

「この世界会議をJCIの内輪だけのもので終わらせたくないんです。例えば「ジャズ・ストリート」や「秋の芸術祭」「グルメ・プロムナード」など、秋には神戸らしい催しがたくさんあるでしょう。それらをまとめて、神戸の秋の祭りを作って、たくさんの方に神戸に来てもらって、のんびりと「神戸ホリデー」を楽しんでもらいたい。そんなことのきっかけとして、JCIがやったことを街に残したいんです。」

来年40歳を迎え、JCIを卒業。世界会議大成功という素晴らしい卒業論文が提出されることだろう。





国画家展
神戸作家展

ある集い ■国画家作家展

充実した
展覧会をめざして

山口静治

国画家は大正十四年に結成された歴史ある公募団体展であるが、神戸に展覧会が巡回して来ないこともあって一般にはなじみが薄い会でもあった。そこで神戸在住の国展出品者が勉強会も兼ねて地元での展覧会をしようということになりこの会が発足した。

出品者は会員、会友とその年の東京での入選者に限定し、できるだけ質の高い展覧会を目指している。従って春の国展に落選するとその年の神戸作家展への出品資格を失う訳で、非常に厳しい会ではあるが、会の雰囲気は温かく、和気藹藹としている。これもまため役である絵画部の梅宮馨四郎、版画部の川西祐三郎、両氏の人柄がそうさせるのだろう。

十二回目を迎えた今回は絵画部十五名、版画部三名の十八名で、構成人数としてはそんなに多くはないが、夏の京都での関西国展ではこの会の一般出品者のほとんど全員が受賞する等、確実な歩みをしていると自負している。

今後はより充実した展覧会を目指すと共に、出品者がもっと増えていくよう魅力ある会づくりに、努力していきたいと思っている。

■問い合わせ先
〒653 神戸市長田区宮丘町一の一八
国画家兵庫事務所 山口静治
☎(078) 621-1471



ある集い ■ 神戸洋画会

神戸洋画会展

第十六回展は、さんちかギャラリーとギャラリーあじさいで十月二十一日同時開催となりました。大作一点と小品一点を持ち寄り、両会場の陳列を済ませ、総会を兼ねた集まりの面々です。

出席者は、石阪春生、岩瀬憲一、上尾忠生、梅宮馨四郎、大垣泰治郎、大西江二、片山直、亀井貞雄、高崎研一郎、中西勝、西村功、山田文宏。

顧問の伊藤誠さん、ギャラリーあじさいの中院俊子さんの顔もみえます。

◇ギャラリーあじさいにて

●神戸っ子同窓生交歓



後列左より鷺尾和子さん、小倉多恵さん、藤枝義子さん、井上文子さん。
前列左より伊藤榛子さん、永田典子さん、今井勲子さん、豊岡久美子さん、佐々木京子さん、水上君子さん。

親和高女 “つくし会”

私達親和高女三十八回生、“つくし会”は、毎年同窓会を開いている。今年も五月に集った。戦時中、学徒動員令により、工場で働き、空爆の下を逃げ回った時を共有する先生と私達は、お互いをいとおしむ心が強いように思う。今年はおもう一度、今井さんのリサイタルが、ミニクラス会となった。今井さんを、同期生と云って紹介するのは、少々気後れがする。芸術家に年はないのだから。おなじように、家庭、子育てと、時を経ているのに、何といつまでもみずみずしく美しい事か。天性は勿論ながら、やはり弛まぬ努力と精進に違いない。“年だから”と聞き直る私達に、“喝”を入られた日でもあった。今回、プログラム中の“古諸なる古城のほとり”は、本当になつかしい思いであった。この詩は、国文の授業で、故出口八重先生から、言葉、七五調の韻律の美しさを教わり、情感のこもった朗詠も聞かせて頂いた。同時進行で、音楽の出口先生(後に八重先生と御結婚)に、歌曲として教わった。そして今回、先生の愛弟子である今井さんの美声と歌唱力によって、絶品の藤村詩を聞かせて頂く事が出来た。感無量であった。先生御存命ならば、どんなにお喜びになられた事かと、涙があふれた。大輪の花のような今井さん“歌に生き愛に生き”いつまでも歌い続けて下さい。心から拍手を送ります。



日本のパールプリンセス太田朱紀さんと。

'93USパールプリンセス来日

全米、500人以上の中からU.S. P.P.に輝いたローラ・デイワイエルドさんが来日。その歓迎パーティーが10月19日、ホテルオークラで行われた。



再選後初登壇し、職員の歓迎を受ける。

神戸市長に笹山さんが再選

10月24日、任期満了に伴う神戸市長選挙が行なわれ、笹山幸俊氏が再選された。「ぬくもりと活力ある街作り」に向けての今後の活動が期待される。



笹山 幸俊氏

● ドウハスナッポ

オープニングセレモニーであいさつする貝原俊民知事。

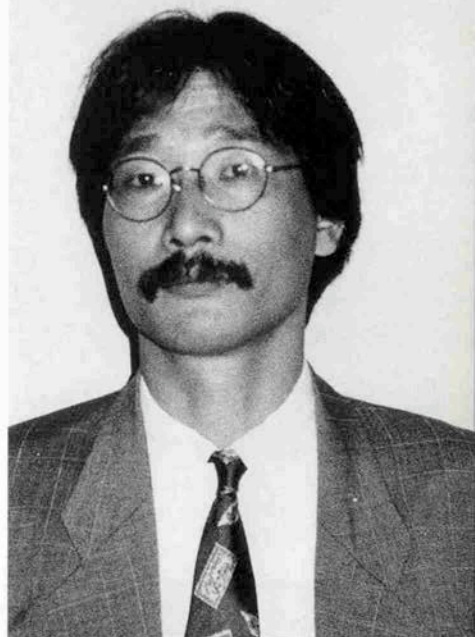


快適環境フェアでは環境問題に対する提案が。



兵庫の祭り。 夢のある暮らし に向けて

「第5回ふれあいフェスティバル」が“環境夢空間—新しいライフスタイルの創造”をテーマに10月23、24日、明石公園で行われた。会場内には環境問題、スポーツ、食などをテーマにしたさまざまなイベントが生まれ沢山の市民で賑わった。



ART KOBE

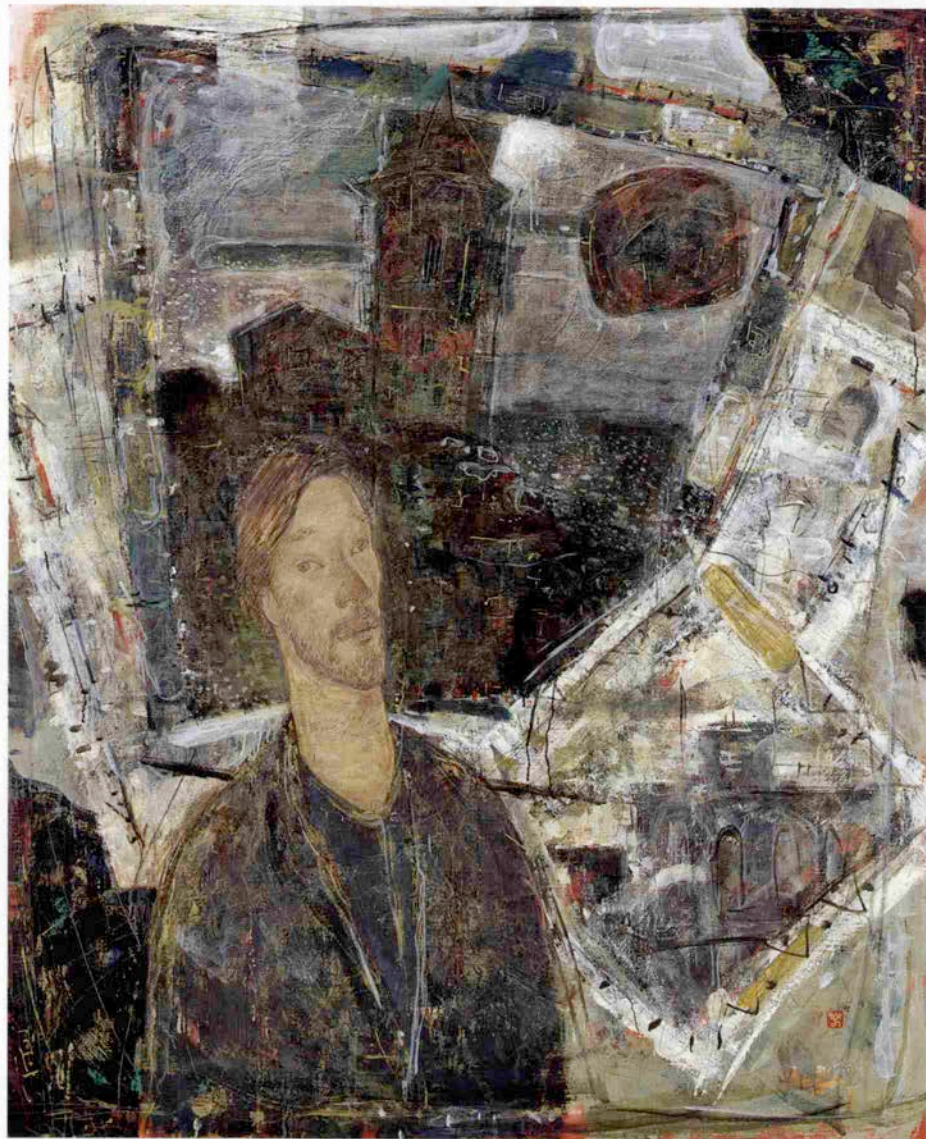
榎並和春

手仕事のつみかさねから生まれる

今の若い人にとって、一番興味ある、表現活動というのは何だろうか。たぶん音楽だと思う。音楽は直接感覚に働きかけ、そして気持ちよくしてくれる。音楽を聴くとき、これは芸術だ、これは芸術でないと考えて聴く人はいない。音楽は今の所、充分にその存在場所を確保している。

表現芸術としての絵の場合はどうか。たぶん表現芸術としての役割は終りつつある気がしてならない。一つは全くデザイン化して、商業と結びついた表現。一つは写真、印刷と結びついて、コンピュータ・グラフィックス、などとも関係をもちながら、マスコミと結びついた表現。もう一つは、絵ではないが、TVとの関係、ビデオなどの映像表現。純粹な絵画表現というのは、今の所伝統工芸的な生き残りの方法しかないのかと危惧している。

ただ一つ言えることは、それら前者の表現は、すべて情報としての意味合いが強いということで、デジタル的な、二進法的情報処理能力だけが問われているような気がしてならない。人が新しいものを生み出し、クリエイトすることに喜びを感じる動物とするなら、その情報を処理することだけでは新しいものは生み出されない気がする。無から有をつくり出す真の創造は、もっと原始的な、言いかえれば、アナログ的な手仕事のつみかさねから、生まれるような気がするのだが、いかがなものか。



【経歴】

山梨県甲府市在住(出身:神戸市垂水区)
山梨大学美術科卒業
山梨県立甲府工業高校・県立国芸高校
美術科 講師 (国画会所属)

【主な受賞歴】

山梨美術協会協会賞受賞(昭55)
山梨県芸術祭賞受賞(昭61)
山梨県新人選抜展-山梨県立
美術館賞受賞 作品収蔵(平4)
第2回JAPAN大賞展佳作賞(平4)
国画会展新人賞受賞(平5)

※その他入選歴多数。

東京・山梨で個展10回開催

【コメント】

海岸通りを、あてもなく歩くのが好きだった。他に行き場もなく、何かと言っては、プラプラと海岸まで下った。

最近神戸の街のことをよく思う。たぶん少年時代を懐かしむ年になったのだろう。

◀「印象 神戸」絵画展

大賞受賞作品

「海と私と六角堂Ⅰ」